大分県公立高校入試徹底分析【社会】

【形式・難易度】

試験時間	50分	配点	60点
問題構成	大問5題。大問1は，世界地理と日本地理。大問2は，歴史は世界史（本年は近現代史のみ出題）を一部含み，原始～近現代。大問3は，公民。大問4は，「農業の新たな動き」をテーマにした地理・歴史の融合問題。大問5は「おんせん県おおいたの持続可能な観光」をテーマとした地理・歴史・公民の融合問題が見られた。 地理分野は，大問1で13点，大問4で7点，大問5で1点の計21点 歴史分野は，大問2で14点，大問4で3点，大問5で4点の計21点 公民分野は，大問3で13点。大問5で5点の計18点　とほぼ横這いの出題配分。 平均点は前年より「5.1点」向上しており、比較的得点しやすい問題となっていた。		

	令和8年度(2026)	令和7年度(2025)	令和6年度(2024)	令和5年度(2023)	令和4年度(2022)
問題量（A4で）	10ページ分	10ページ分	10ページ分	10ページ分	10ページ分
小問数	38問	39問	40問	39問	39問
論述問題の数	7問	8問	6問	9問	7問
論述問題配点	14点	16点	12点	18点	14点
受験者平均点	32.3点	27.2点	32,3点	25,1点	28,5点

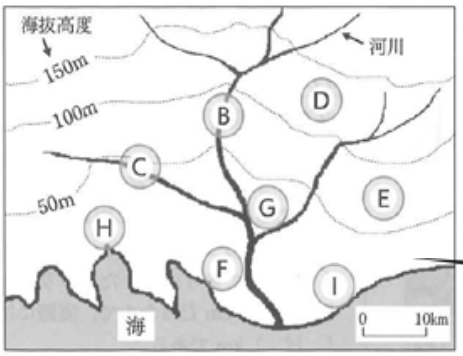
【出題の傾向と対策】

①地図や図の読み取り問題が出題されるので，図や資料を用いた問題を数多く解いておく。

2021年度【5】(2)

(略)資料3は河川水系の模式図を示したものである。模式図中の地点B～Iにおける災害や防災について述べた文として最も適当なものを，ア～エから1つ選び，記号を書きなさい。なお，模式図以外の条件は考えないものとする。

資料3



ア　BよりもCの方が，同じ規模のダムを建設した際に，河口部の　　洪水を防ぐ効果が高い。

イ　DよりもEの方が，同じ面積の森林を伐採した際に，河口部で　　の洪水の危険性が高くなる。

ウ　FよりもGの方が，堤防で囲まれた輪中が形成されやすい。

エ　HよりもIの方が，津波の被害が大きくなる可能性が高い。

・　ただ資料を読み取るだけでなく、資料から地理的条件を考え、さらに選択肢の正誤を判断することが必要。知識だけでなく、思考力、読解力が問われる出題。

②教科書に掲載されている資料や図なども意識しながら学習することが効果的。

2026年度【2】(2)

資料2は、当時の人の状況を示した和歌である。これに関する会話文を読み、文中の（　C　）に当てはまる語句を答えなさい。

資料2　唐衣　裾に取り付き　泣く子らを　置きてぞ来ぬや　母なしにして

（会話文中略）この和歌は、天皇や貴族が詠んだ歌などとともに『（　C　）』に収められています。

資料2は「防人の歌」であり『万葉集』に収められている和歌である。
このように教科書に記載されている「歴史史料」にも目を通しておくことが効果的。

③大問4大問5の融合問題では資料の読み取りが多く出題されるため、訓練を積んでおく。

2022年度【4】(3)

太郎さんと花子さんは,「経済のグローバル化」というテーマで探求学習を行った。次は二人の会話文で ある。

(略)

太郎:現在の日本は,貿易によって高い経済力を維持している貿易中心の国であると言えますね。

花子:しかし,cこの資料から考えると,必ずしも貿易中心の国とは言えないのではないでしょうか。

(3) 下線部cに関連して,花子さんは資料3中のア～オのうち2つのデータを組み合わせて太郎さんに反論した。花子さんが用いたデータとして適当なものを,ア～オから**2**つ選び,記号を書きなさい。

資料3

	ア	イ	ウ	エ	オ
	人口密度 (人/㎢)	輸入額 (百万ドル)	1人当たり 国民総生産 (ドル)	1人当たり 輸出額 (ドル)	経済成長率 (%)
日本	330.1	720,803	40,063	5,562	0.30
韓国	510.5	502,758	32,143	10,592	2.00
タイ	135.7	238,924	7,785	3,524	2.30
オランダ	411.6	635,678	53,053	41,445	1.70
ドイツ	233.7	1,233,978	46,232	17,834	0.60
メキシコ	64.9	482,613	9,849	3,611	-0.10

(注)統計年次は2019年。 (『世界国勢図会2021/22』他より作成)

日本の経済が貿易中心で回っているわけではないことを示すデータは何か考える必要がある。

④ 複数の資料を読み取り論述させる問題がトレンドであるので論述問題にも慣れておく。

2025年度【1】(1)④

太郎さんは,調べ学習を進めていく中で,インドネシアに環境問題があることを知り,資料4を見つけた。インドネシアの環境問題を,インドネシアの漁業等に関する資料4を参考にして,漁業の振興と関連付けて書きなさい。

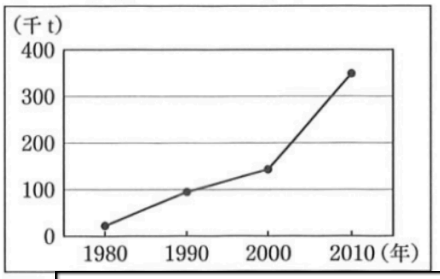
資料4

○マングローブとエビ養殖池

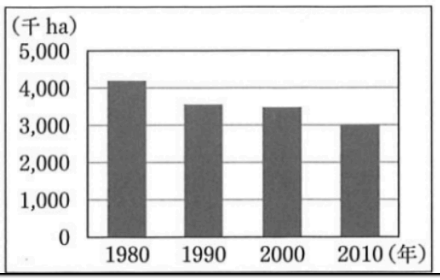


(「国際緑化推進センターホームページ」より作成)

○エビ養殖生産量の推移



○マングローブ面積の推移



マングローブ面積の推移とエビ養殖生産量の推移の因果関係を、写真をヒントに考える。

解答

2021年度【5】(2)ウ

2026年度【2】(2)万葉集

2022年度【4】(3)ウ・エ

2025年度【1】(1)④(例)エビ養殖生産量を増やすために養殖池を造った結果、マングローブ面積が減少したこと。